

第2学年 算数科学習指導案

1 日時・場所 令和8年(2026年) 10月9日(金) 14:00~14:45 2年1組教室 2年2組教室

2 単元名 「かけ算(1)」

3 本授業の提案

本単元では、乗法が用いられる場合や乗法九九について知り、乗法の意味や乗法に関して成り立つ性質(乗法が1ずつ増えるときの積の増え方や交換法則)を理解し、それを用いる力を育てる。

また、数量の関係に着目し、1つ分の数が決まっていってそのいくつ分かにあたる大きさを求める場合に乗法を用いて考える力や、乗法九九を構成したり、その過程で乗法九九について成り立つ性質を見い出したりする力を養う。さらに、乗法のように気づき乗法九九を学習や生活に活用する態度を育てることをねらいとする。

本単元では、数量の関係に着目し、「1つ分の数」を捉え、それをひとまとまりとみて、その「いくつ分」を捉えることを大切にしていきたい。2年生には、算数科に苦手意識を持つ児童が多くおり、授業への参加が他者任せになってしまう姿や実生活に結び付かない姿がある。半具体物の操作では実際の生活体験と結びつかない事を考慮し、より身近な具体物の操作活動を取り入れ、「1つ分の数」の理解を実際の買い物感覚で養えるように楽しみながら取り組んでいきたい。まずは「やりたい」姿を大切に、かけ算の九九に向けて苦手意識が残らず、同じ数ずつ増える概念の定着を大切にしていきたい。

4 現状の児童の様子と手立て

1組

気になる子の困りと今の姿
・算数に対する苦手意識が高く、加法減法の基礎基本にも不安があり、自信をもって取り組むことができない。
・わからないことが相談しづらく、一人で困ってしまい参加ができなくなってしまう。
・授業は聞いているが、式の意味や計算の理解が難しく、遅れてしまう。

授業での具体的方策
・買い物という身近な生活体験を取り入れることで学習に対するハードルを減らす。
・かけ算の意味をグループ学習で自然に考えを深め合える時間を確保する。
・半具体物ではなく、あえて本物を準備することで楽しみながら、より日常生活での必要感を感じる。

期待する姿
・これも算数!?!と楽しんで1時間取り組む姿。
・友だちとグループ活動の際、自然に相談や協力しながら参加する姿。
・1あたりの意味を理解し、自分から進んで活動に参加する姿。

2組

気になる子の困りと今の姿
・基礎・基本的なことが身についておらず、やる気は十分だが、問題とにらめっこして困ってしまう。
・「分からない・難しい」と感じると不安が大きくなり、人の答えをうつしてしまう。大人が気づくと、困り感を出すことができる。
・授業には参加し意欲もあるが算数への苦手意識が強い。

授業での具体的方策
・買い物をする活動で「分からない」からではなく、「楽しいかも?!」から始める。
・1あたりの数の意味や、かけ算の意味を友だちと一緒に、発見する時間をつくる。
・算数は日常生活でも使えることや楽しいことに気づくことで、少しでも興味を持てるようにする。

期待する姿
・「分からない」と固まるのではなく、友だちと共に新しい発見を見つけることができる姿。
・友だちと話し合う姿。
・1あたりの意味を理解し、自分から進んで活動に参加する姿。

5 単元指導計画(全17時間 本時 3/17時)

時	学習内容
第1時	・数量の関係に着目して全体の数量を「1つ分の数」と「いくつ分」でとらえる
第2時	・乗法の意味・記号「×」、用語「かけ算」 ・数量の関係に着目して乗法の場面を式に表す
第3時(本時)	・数量の関係に着目して乗法の場面から式を具体物で表す。
第4時	具体物を活用し、乗法の立式を繰り返し練習する。 ・数量の関係に着目して同数累加による乗法の答えの求め方を考える
第5時	・「倍」の意味の理解と乗法の適用
第6時	・学習内容の生活への活用(いかしてみよう)
第7時	・5の段の九九の構成
第8時	・5の段の九九の暗唱と適用、問題解決
第9時	・2の段の九九の構成
第10時	・2の段の九九の暗唱の適用、問題解決
第11時	・3の段の九九の構成
第12時	・3の段の九九の暗唱と適用、問題解決
第13時	・4の段の九九の構成
第14時	・4の段の九九の暗唱と適用、問題解決
第15時	・学習内容の習熟・定着(たしかめよう)
第16時	・数学的な見方・考え方の振り返り(つないでいこう 算数の目)
第17時	習熟



MENU

1さらに

こずつ

さら分で

おきやくさん

×

おきやくさん

=

おみせやさん

ぜんぶで

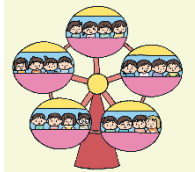
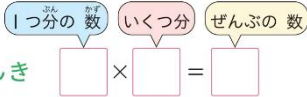
こ

です。

6 本時の目標(3/17時)

乗法の場面から式を具体物で表すことができる。

7 本時の展開(1組)

学習活動	指導上の留意事項・手立て
1. 前時の復習(5分) に乗っている人の数を、かけ算で表しましょう。 ねらい かけ算をつかって、おかいものをする事ができる!	教科書の挿絵 P3、4をもとに 1つ分の数、いくつ分の数、ぜんぶの数の確認  しき $\square \times \square = \square$
2. 買い物活動の確認(8分) ・お買い物のルールの確認 ・お店屋さんの準備	①お店側とお客側に分かれる ②お客側は、かけ算を使って商品を注文する ③お店側は、注文された商品を間違いのないように提供する ④限られた時間で、パーフェクトを目指す
3. 買い物活動(パーフェクトショッピング)(20分) お客側とお店側に分かれて、完璧な買い物をする	●お客側…注文票をお店側に渡す ○お店側…お客側に出された注文票を元に、1あたりの数を大切にしていくつ分必要なのかをペアで協力して完成させる ・児童の実態をみて、活動に余裕があればショッピングの時間を短く設定し、かつパーフェクトショッピングを目指す ①3分→②2分→③1分→④30秒 「1皿〇こずつやで!」「楽しい算数もあるんや」 ※4×3が3×4のように「かけられる数」と「かける数」が逆になる事も予想される。全体で交流するか次回に持ち越すかは学級の様子を見て判断する
4. レベルアップタイム 完成された商品は、本当にあっているのか考える ※実態に応じてパーフェクトショッピングの回数を増やし、時間を縮めてクラス全部の班がパーフェクトになれるよう競い合って楽しむ。	
5. パーフェクトショッピングのふりかえり(6分) お店側の大切にしていたポイントの交流 【今日の復習問題】 かけ算の式にするなら、どうする? 	教科書の挿絵 P3、4 をもとに、1つ分の数の確認を最後クイズ形式で行う。 「4人乗っている所を減らせばいい」 「3人ずつにすればいいと思う」  も、かけ算のしきに書けるばめんにできないかな。
6. ふりかえり(大事ポイント)(5分) 今日の授業で大事だと思ったことを書く 「同じ数ずつが大切」「かけ算が楽しかった」	書く視点を絞り、授業の感想にならないようにする ○かけ算で大切な事について ○活動を通して大切だと思ったこと

授業の視点

☒他者と協働して主体的に取り組む学習活動

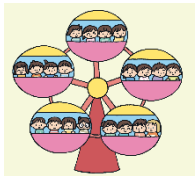
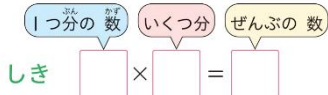
☐AI、タブレットを活用した個別最適な学び

☐思考・判断・表現力を育成する言語活動の充実

6 本時の目標(3/17時)

乗法の場面から式を具体物で表すことができる。

7 本時の展開(2組)

学習活動	指導上の留意事項・手立て
1. 前時の復習(5分) に乗っている人の数を、かけ算で表しましょう。 ねらい かけ算をつかって、おかいものをする事ができる!	教科書の挿絵 P3、4をもとに 1つ分の数、いくつ分の数、ぜんぶの数の確認 
2. 買い物活動の確認(8分) ・お買い物のルールの確認 ・お店屋さんの準備	①お店側とお客側に分かれる ②お客側は、かけ算を使って商品を注文する ③お店側は、注文された商品を間違いのないように提供する ④一人で進めず、協力すること
3. 買い物活動(パーフェクトショッピング)(20分) お客側とお店側に分かれて、完璧な買い物をする 完成された商品は、本当にあっているのか考える	●お客側…注文票をお店側に渡す ○お店側…お客側に出された注文票を元に、1あたりの数に気をつけながら、いくつ分必要なかをペアで協力して完成させる
4. レベルアップタイム ・パーフェクトショッピングの時間をどんどん短くしたり、回数を増やしたりして、できたをたくさん作り活動を楽しむ。	・児童の実態をみて、活動に余裕があればショッピングの時間を短く設定し、かつパーフェクトショッピングを目指す ①3分→②2分→③50秒→④30秒 「1皿に○こずつ入れて!」「今日の算数、楽しい!」 ※4×3が3×4のように「かけられる数」と「かける数」が逆になる事も予想される。全体で交流するか次回に持ち越すかは学級の様子を見て判断する
5. パーフェクトショッピングのふりかえり(6分) お店側の大切にしていたポイントの交流 ・かけ算の式にできるかな?	教科書の挿絵 P3、4をもとに、1つ分の数の確認を全体で行う 「4人乗っているカップを減らせばいい」「3人ずつにしないといけない」 も、かけ算のしきに書けるばめんにできないかな。
6. ふりかえり(大事ポイント)(5分) 今日の授業で大切だと思ったことを書く 「同じ数ずつが大切」「かけ算、簡単やん!」	書く視点を伝え、ショッピングだけの感想にならないようにする ○かけ算で大切な事について ○活動を通して大切だと思ったこと

授業の視点

☒他者と協働して主体的に取り組む学習活動

☐AI、タブレットを活用した個別最適な学び

☐思考・判断・表現力を育成する言語活動の充実